

トピック(テーマ)	花街権堂の歴史		
ねらい	善光寺の精進落としの場とも言われた権堂(長野市権堂町)は、水茶屋が建ち並び、信州一の花街として知られていた。権堂町は現在も長野県一の歓楽街である。このように江戸時代の花街が現在につながっている例は、全国的にも貴重である。その歴史を知ることが、町づくりの観点からも重要である。		
キーワード	権堂町 権堂村 花街 水茶屋 飯盛り女 遊女 身売り 博徒 国定忠治 山形屋 善光寺参り		
概要を知るためのツール	1	書名	長野市権堂町史
		著者名	権堂町史編集委員会／編
		出版社	権堂町 権堂町公民館
		出版年	1993.4
		内容紹介	通史編の「花街権堂村」の章に江戸時代の権堂が詳述されている。明治以後の花街の変遷も詳しく記されている。資料も多い。
	2	書名	長野市史考
著者名		小林計一郎／著	
出版社		吉川弘文館	
出版年		1969.4	
内容紹介	第三部「善光寺参詣者・善光寺町の文化」の中に、「門前町の花街—善光寺権堂水茶屋について」の項がある。		
資料リスト	1	書名	善光寺繁昌記—明治十年、長野のにぎわい
		著者名	小林一郎／訳
		出版社	光童堂
		出版年	2008.1
		内容紹介	長尾無墨著の『善光寺繁昌記』(漢文)の現代語訳。三編「権堂の芸妓」に、明治初期の権堂花街の実態が具体的に述べられている。
	2	書名	今昔の長野
		著者名	若林薔吉／著
		出版社	西沢書店
		出版年	1917.4
	内容紹介	「江戸風な廓町」のタイトルで、31ページにわたって権堂の今昔を記述している。裏話的なエピソードがいくつも収録されている。	
	3	書名	復刻 諸国道中商人鑑
		著者名	
出版社		郷土出版社	
出版年		1989.4	
内容紹介	文政10年(1827)に出版された『諸国道中商人鑑—中仙道善光寺之部』の復刻。「善光寺権堂町之部」に水茶屋の広告があり(8軒は絵入り)、当時の水茶屋の実態が絵を通してよく分かる。		
雑誌	1	論題名	善光寺権堂水茶屋の研究
		著者名	小林計一郎／著
		雑誌名	信濃[第3次]
		出版年	1954
		巻号頁数	(6-3),158-177
	2	論題名	国定忠治が活躍した権堂
		著者名	小林一郎／著
		雑誌名	長野
		出版年	2007
		巻号頁数	(255),5-14
インターネット情報	1	サイト名	花街権堂(北信濃 江戸時代の風景41) 長野信用金庫「すかい」543号

		URL	http://www.nagano-shinkin.jp/pdf/toukinko/gaiyou_sky/sky201711.pdf#page=10
		概要	長谷川雪旦著『北国一覽写』の権堂の図の解説。
	2	サイト名	権堂の水茶屋(北信濃 江戸時代の風景51) 長野信用金庫「すかい」554号
		URL	http://www.nagano-shinkin.jp/pdf/toukinko/gaiyou_sky/sky201810.pdf#page=10
		概要	『諸国道中商人鑑』の権堂の水茶屋「広田屋仁兵衛」の図の解説。
	3	サイト名	権堂の水茶屋(続)(北信濃 江戸時代の風景52) 長野信用金庫「すかい」555号
		URL	http://www.nagano-shinkin.jp/pdf/toukinko/gaiyou_sky/sky201811.pdf#page=10
		概要	『諸国道中商人鑑』の権堂の水茶屋「きの国屋外八」の図の解説。
新聞	1	記事	生菩薩、色界の亡者を済度
		発行機関	信濃毎日新聞社
		年月日	1909.10.26-27